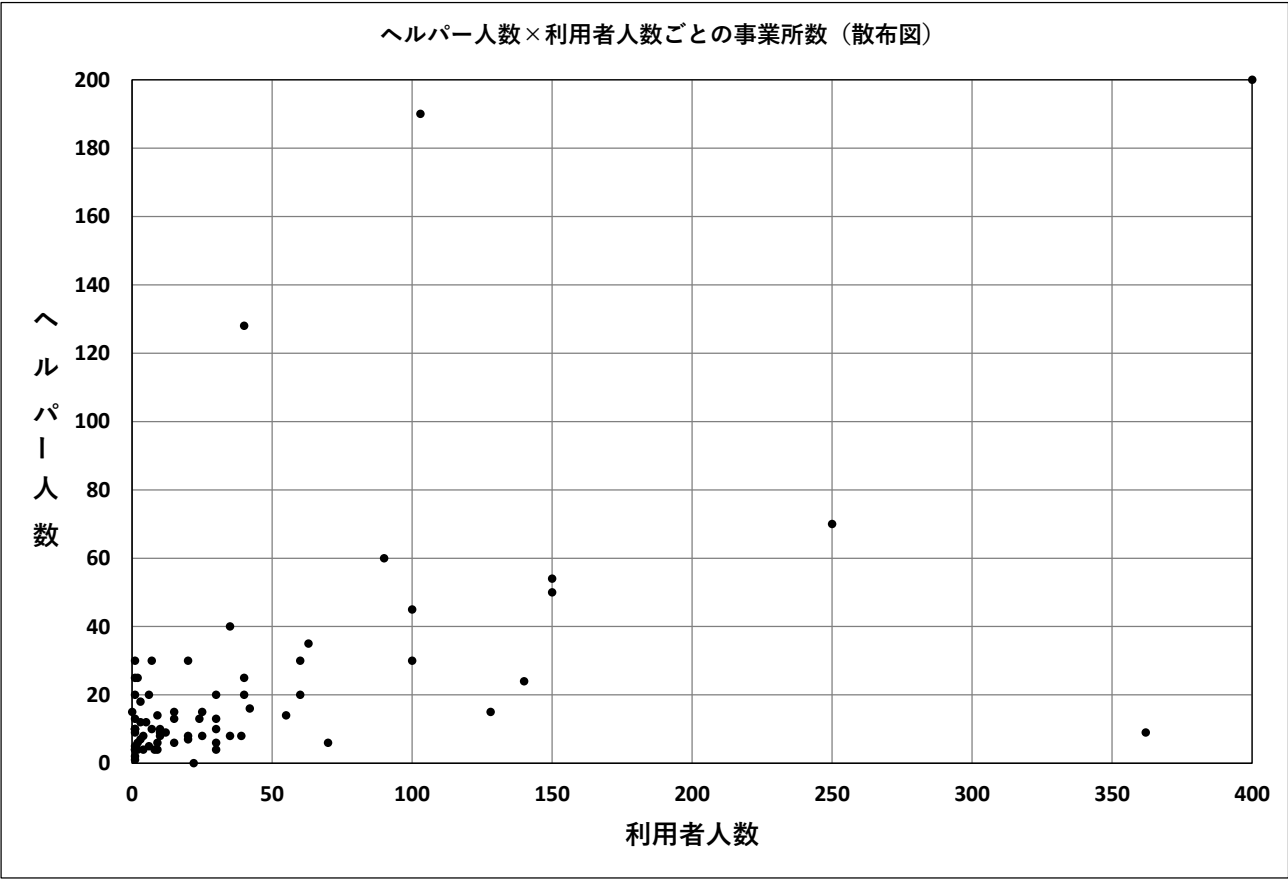


移動支援事業見直しに係る事業所アンケート（概要）

アンケートの目的：移動支援事業の見直しを検討するにあたり、移動支援事業所の意見を見直しの参考とするため
対象者：杉並区移動支援事業 委託事業所（全193事業所のうち73事業所から回答）
調査方法：Logoフォームによる回答
調査期間：令和6年11月8日から令和6年11月25日まで

1 ヘルパー人数×利用者人数ごとの事業所数（例：ヘルパー人数が1-10人で、利用者人数が1-10人の事業所は22所）

		利用者人数							合計
		1-10人	11-20人	21-30人	31-40人	41-50人	51人以上	未回答	
ヘルパー人数	1-10人	22	4	4	2	0	2		34
	11-20人	7	2	4	1	1	3		18
	21-30人	4	1	0	1	0	3		9
	31-40人	0	0	0	1	0	1		2
	41-50人	0	0	0	0	0	2		2
	51人以上	0	0	0	1	0	5		6
	未回答							2	2
	合計	33	7	8	6	1	16	2	73



2 主に提供している移動支援サービス

サービス種類	事業所数
通学	10
通所	3
余暇（3時間以上）	31
余暇（3時間未満）	29
合計	73

3 令和3年度の見直しで効果を感じたもの・感じなかったもの(複数回答) (所)

見直し項目	感じた	感じなかった
自宅以外の発着	34	4
プール内やランニング等の支援	12	6
余暇活動等の年単位での支給	24	8
通学送迎の原則1回30分以内の撤廃	15	12
訓練等の原則1回30分以内の撤廃	4	7
肢体不自由者、精神障害者など支給要件の拡大	8	8
重度区分の見直し(3区分)と委託料の見直し	19	10
グループ支援の導入	8	15
わからない、当時は事業を実施していない	16	26
その他	1	3

その他の意見は以下のとおり

- ・ヘルパーが不足している。
- ・ヘルパーの技量が足りていない。
- ・定期的な通院の支援でも利用したい。
- ・発着点が異なる場合の戻りの時間・経費なども請求したい。
- ・グループ支援が広まってほしい。

4 支援の内容について困りごと

- ・発着点が異なる場合の戻りの時間・経費などの請求ができない。(5件)
- ・ヘルパーが不足している。(4件)
- ・ヘルパーの技量が足りていない。(3件)
- ・報酬が少ない。(2件)
- ・報酬(時間帯による加算)がない。
- ・報酬(長時間支援による加算)がない。
- ・報酬(当日キャンセル時の加算)がない。※キャンセル料をもらいにくいため。
- ・支援時の交通費の負担が大きい。
- ・更新時の支給区分の判定で、チェック漏れがあるだけで支給区分が変わってしまい損をすることがある。
- ・「定期的な通院の支援」の「定期的」がどの程度の頻度かわからない。
- ・GH職員による虐待を相談支援に相談したら、その方の支援をGH側から断られた。
- ・時間数の考え方が他区と異なる。
- ・GHの体制を整えてほしい。

5 請求事務について困りごと

- ・ペーパーレス化を進めてほしい。(8件)
- ・受給者証更新時の変更が分かりづらい。(3件)
- ・報酬(時間帯による加算)を設けてほしい。
- ・請求書式や支援時間の考えなどが他区と異なり、分かりづらい。
- ・支給区分の判定上、「軽度」であっても、実際には「重度」と感じることもある。
- ・請求書のハンコレスを進めてほしい。
- ・支給時間が少ない。
- ・請求ソフトなどで移動支援は対応できないこともあり煩雑。

6 令和6年現在ヘルパーの報酬（時給）

報酬（円）			事業所数
1050	～	1200	10
1201	～	1400	22
1401	～	1600	23
1601	～	1800	4
1801	～	2000	7
2001	～	2500	5
未回答			2
合計			73

7 令和3年時点との差

改定幅	事業所数
1円～100円未満	25
100円～200円未満	19
200円～300円未満	3
300円以上	1
その他（令和3年度事業未実施）	6
その他（不明）	1
未改定	18
合計	73

8 ヘルパーの稼働状況

稼働状況	事業所数
余裕があり、さらに依頼を受けることができる	4
稼働状況が適切でちょうど良い	12
ヘルパーが不足しており、予約を断ることがある	56
その他（ヘルパー不足により新規のみ断ることがある）	1
合計	73

9 月に予約を断る件数

件数	事業所数
1～5件程度	40
6～10件程度	6
11～15件程度	2
16～20件程度	2
その他	6
未回答	17
合計	73

その他回答は以下のとおり。

- ・月40件
- ・月50件～80件
- ・2～3月に通学送迎の依頼があるが、3件程度断ることがある。
- ・2～3月に通学送迎の依頼があるが、10件程度断ることがある。
- ・年2件
- ・年5件

10-1 ヘルパー不足時間帯(複数回答)

曜日・時間帯	事業所数
平日朝（通学・通所時間帯）	33
平日日中	14
平日夕方（通学・通所時間帯）	38
平日夜間	12
土日祝日	43
その他	2

その他回答は以下のとおり。

- ・すべての時間帯
- ・時間帯と言うより、日中での5～6時間の利用依頼があるが、5～6時間を同行できるヘルパーがいない。特に土日の依頼は難しい。

10-2 不足時間帯の原因

- ・通学通所の時間帯や土日祝に依頼が集中するため。（19件）
- ・ヘルパーが不足しているため。（15件）
- ・土日祝のヘルパーが不足しているため。（2件）
- ・コアタイムである平日朝・夕の短時間のみ働く人材の確保が困難なため。（2件）
- ・報酬が少ないため。（3件）
- ・発着点が異なる場合の戻りの時間・経費などの請求ができないため。（2件）
- ・報酬（時間帯による加算）がないため。
- ・土曜日は行動援護優先するヘルパーが多いため。
- ・平日はどの時間も家事、育児、介護と重なる時間のため。
- ・有資格者のみが従事できる仕事であるため。
- ・ヘルパーの供給と利用者の需要が合わないため。
- ・依頼があってから求人を行うため。

11-1 安定したヘルパー確保のためには何が重要だと考えられますか(複数回答)

項目	事業所数
求人、面接などの機会	39
報酬の見直し	58
資格要件の緩和	12
養成講座の開催	18
その他	2

その他回答は以下のとおり。

- ・給付単価のアップ（時間報酬に対する給付が低いいため事業として成立しない）
- ・移動支援に適切な人材を見分けるのが難しい。資格だけでなく人格もあり、向き不向きが多い

11-2 ヘルパーの確保の課題

- ・報酬が少ない。（11件）
- ・ヘルパーが不足している。（8件）
- ・ヘルパーの育成ができておらず、技量が足りていない。（3件）
- ・養成講座の頻度が少ない。（3件）
- ・事業所がアピールする機会や求人情報を伝える機会がほしい。（2件）
- ・ガイドヘルパーの仕事について、もっと世の中に知られる機会を作れたら良いと感じる。（2件）
- ・障害福祉サービスには適用される処遇改善加算等がない。
- ・必ずどこかの事業所に登録するという方に講習を受けていただきたい。
- ・ヘルパーの定着率が低い。
- ・支援時の交通費の負担が大きい。

1 2 他の自治体でも移動支援事業の委託を受けていますか

他自治体からの委託	事業所数
受けている	54
受けていない	19
合計	73

1 3 他の自治体と比較して、杉並区の課題や改善点、他の自治体での良い取り組み例があれば教えてください

- ・ 小学1年生～3年生の余暇活動
- ・ 報酬（時間帯による加算）（3件）
- ・ 報酬（処遇改善等による加算）
- ・ 条件のない通所送迎
- ・ 養成講座や研修の対象者拡大
- ・ 定期的な通院の支援
- ・ 実績記録簿のヘルパー確認印不要（2件）
- ・ 報酬が少ない。（3件）
- ・ 支給時間が少ない
- ・ 通学等の支給時間がギリギリである。
- ・ 請求関係の書類が多い。
- ・ 請求書類作成システムの構築
- ・ 各自治体で時間数の考え方を統一してほしい。
- ・ 事業者間で応援依頼できるよう、事業者同士の繋がりを持てる機会を作してほしい。
- ・ 請求書のハンコレスを進めている自治体もある。
- ・ 対象となる外出を増やしてほしい。
- ・ 請求事務のペーパーレス化

1 4 最後に杉並区の移動支援事業についてご意見がありましたらご記入ください

- ・ 報酬を上げてほしい。（7件）
- ・ 小学3年生以下の余暇活動を認めてほしい。
- ・ 長時間支援時の食費や休憩を踏まえた報酬体系にしてほしい。
- ・ 通学、通所送迎に入れるヘルパーが不足している。
- ・ 世田谷区では緊急時バックアップセンター（利用者家族に何かあった際に、区と別途契約している事業者が区から直接の依頼で支援に入る制度）を実施している。
- ・ 短時間の支援は同じ時間帯に集中するため、次の仕事に繋がりにくい。
- ・ 報酬（時間帯による加算）を設けてほしい。
- ・ 発着点が異なる場合の戻りの時間・経費などを補填してほしい。
- ・ 重度や軽度という表現は改めた方がよいのではないか。
- ・ 実績記録簿のペーパーレス化してほしい。
- ・ 受給者証更新時に、チェックの有無のみで支給区分が変わってしまうため、実態も踏まえて更新してほしい。
- ・ 報酬（処遇改善等による加算）を設けてほしい。
- ・ 大地震等の緊急時における安全確保の対策を確立してほしい。
- ・ 支給時間数を増やしてほしい。
- ・ 区主催の移動支援の研修を実施しているが、雇用に繋がっていない。